7月12日（金）　第５校時

総合的な学習の時間	第９学年	竹原市立吉名学園	指導者　日下　弘法　佐藤　希美 中山　諒　　土屋　美智子

吉名未来地域創造プロジェクト　～　わたしたちの力で吉名の町を盛り上げよう～

１　単元のデザイン

単元の目標

地域を活性化させるための取組を企画し実行する活動を通して、地域活性化に向けて多くの人たちが連携して取り組んでいることを理解し、自分たちの取組の実現に向けて多様な人々と協働して考え地域社会の一員としての自覚や郷土に対する愛情を高めることができるようにする。

単元について

本単元の主な活動は、自分たちが住む地域を活性化させる取組を企画し、実行することである。地域を活性化させるための企画を生徒自身が考え、綿密な計画を立てることで、企画する力、活動を計画・推進する力を育成することができる。また、学校運営協議会で企画を提案し、そこで受けた指摘を基に改善を図ることで、表現する力、評価する力、改善する力を育成することができる。

本単元で扱う材は「吉名町」である。吉名町が属する竹原市は、4月に消滅可能性自治体であると報道され、年々人口が減少している実態がある。そのような実態を悲観するのではなく、自分たちが取り組むべき課題であるという意識をもたせることができ、また、住みよい吉名町にするために学校運営協議会の委員の方や吉名町協働のまちづくりネットワークなど、その方たちを巻き込みながら、地域を活性化する取組を企画し、実行することを通して、郷土を誇りに思う心、社会をよりよくしたいという思いを育てることができる。

共創の視点

吉名町を盛り上げたいという地域活性化を目的にもつ人々や、吉名町の地域の方との共創が期待できる。また、目的が同じ異学年との共創の広がりも期待できる。その結果、地域との結び付きの大切さや地域社会の一員としての自覚、郷土に対する愛情を高めることができると考えられる。

児童生徒の実態

本学級の生徒は、吉名町は田舎であり、この町で生活をしていくことは難しく、将来は他の市町で生活したいと考えている生徒がほとんどである。その一方で、今まで生活してきた吉名町に貢献したい、盛り上げたいという願いはもっており、その思いから自分たちの力で町を盛り上げる楽しい取組を実現させたいという思いをもっている。

プレゼンテーション力については、自分の考えや意見を相手に伝える際、論理的に展開し、相手を説得したり共感を得たり、原稿を見ずに、即興で言葉を生み出して自分の考えを表現できる生徒は少ない。

活動を計画・推進する力については、アンケートで、「課題解決に向けて、自分（たち）で、必要な情報や準備物、解決方法や手順などの計画を立て、見通しをもって計画的に活動を進めている。」と肯定的な評価をしている生徒が77%である。しかし、アイデアを関連付ける等の整理・分析する力や見通しをもって計画的に進める力は十分ではない。

ＩＣＴ活用力については、これまで各教科や総合的な学習の時間にインターネットを活用した情報収集やプレゼンテーションソフトを活用した発表を行っており、必要な情報を収集するために、複数のキーワードでウェブ検索をしたり、プレゼンテーションアプリを用いて写真や言葉を入れてプレゼンテーション資料を作成したりすることはできる。

指導の工夫

(1) 単元づくり五つのポイントの具現化

○　思いや願いに基づく挑戦　…　生徒が本気になる課題設定となるように、吉名町を盛り上げるための取組を生徒に考えさせ、それに沿って活動を進める。また、生徒がこれまでに身に付けた力を発揮し生徒主導で活動を進めることができるように、各グループに指導者を配置し生徒の考えを引き出し、それに沿って活動するように促すファシリテーターの役割を行う。その際、指導者の支援は必要最小限にする。

○　巻き込む活動　…　目標を達成するための取組は自分たちの力だけでは実現することは難しいことに気付かせる。地域を活性化させるためには、道具や資金などの協力を得ることも必要だが、地域の方の思いや願いも大切にしながら、企画を進めていかなければならない。そのために、自分たちの活動に、学校運営協議会の委員の方や吉名町協働のまちづくりネットワークの方々を巻き込むにはどうしたらよいか考えさせ、見通しをもって計画的に活動を進めることができるようにする。

○　再挑戦の場の設定　…　実社会につながる場の一つとして学校運営協議会の委員の方に企画を提案

し、そこで出された指摘やアドバイスを基に改善案を考える場を設定する。

(2) ＩＣＴ活用

本単元では、主に個別と協働の場面でＩＣＴを活用する。具体的にはインターネットで情報を検索したりアンケートを実施したりして情報の収集を行う。また、資料を作成しプレゼンテーションを行う。

２　単元の評価規準

(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
ア　地域のよさや課題、地域活性化に向けて取り組む人々の思いや願い、工夫を理解し、理解の深まりが探究的な学習したことの成果であることに気付いている。 イ　第Ⅲ期までに身に付けた技能を基に、以下のABCについて目的に応じて、効果的な情報収集・処理、画像・動画の撮影・編集、情報発信の技能を身に付けている。 A　必要な情報を収集するために、複数のキーワードでのウェブ検索をしたり、アンケートアプリを用いてアンケートを作成して実施したりすることができる。表計算アプリを用いて、表に数値を入力して情報を整理し、自分で目的に合わせたグラフの形式を選択して作成することができる。 B　写真や動画の撮影ができる。画像のトリミング、明るさの調整などの画像編集ができる。動画編集アプリを用いて、撮影した動画を必要な部分だけトリミングし、それらをつなげたり、「分かりやすくする」、「印象付ける」などの意図に応じて文字やイラストを入れたりして、動画を作成することができる。 C　文書作成アプリやプレゼンテーションアプリを用いて、レイアウトを選択し、編集した写真や動画、ローマ字入力で書いた言葉を入れて、統一感のある文書やプレゼンテーション資料を作成することができる。また、出典を明記し、責任ある情報発信を行うことができる。	ウ　体験活動やインタビュー、資料の分析で得た情報や自分たちの興味・関心、地域の方の思いや願い、社会的な広い視野から課題を設定し、課題解決に向けた企画（アイデア）を出している。 エ　課題解決に向けて、自分（たち）で、必要な情報や準備物、解決方法や手順などの計画を立て、見通しをもって計画的に活動を進めている。 オ　目的に応じて適切な情報収集の方法を選択し、事前に考えた計画（質問項目など）に沿うだけでなく、その場での気付きを基に別の観点で観察したり、相手の反応を見ながら臨機応変に追加の質問をしたりして、より詳しい情報を収集している。さらに、情報の発信元や真偽を確かめながら、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集している。 カ　様々な情報を、比較・分類したり、順序付けたり、関係付けたり、多面的・多角的に分析したりして、特徴などを見付けている。 キ　目的や意図に応じて、相手を説得したり共感を得たりすることができるように論理の展開などに注意して構成を考え、グラフや動画、文章など効果的な方法を選択したりそれらを組み合わせたりするなどの工夫をするとともに、原稿なしで、即興で言葉を生み出して自分の考えを伝えている。 ク　既存のアイデアにアレンジを加えたり、肉付けしたり、組み合わせたり、多角的な視点から物事を見つめて改めたりしながら、新たなアイデアを考え、形にしている。 ケ　自分や他者の発表や制作物に対し、よい点や改善点などを見付けて伝えている。自己評価や他者からの評価を基に、制作物や取組を見直し、その都度改善している。	コ　課題の解決に向けて、実社会の場でも進んで挑戦し、失敗や困難に出合ってもその場で臨機応変に対応したり改善を図って再挑戦したりして、最後までやり切ろうとしている。 サ　課題の解決に向けて、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図ろうとする。自他のよさを生かしながら多様な他者と協働して活動を進めようとしている。 シ　活動を振り返る中で、自分や友達、地域、様々な職業などのよさに気付くとともに、自分の個性（長所や短所）を認識し、自分の将来を考えて、夢や希望をもって自分の将来を切り拓こうとしている。

３　指導と評価の計画（全 38 時間）

時	学習活動	シンキング ツール	評価規準 （評価方法）
1 〜 4	○吉名町の未来を想像し、地域の発展ためにどのようなことができるか考える。 ・吉名町の人口の推移を見て、年々人口が減少傾向にあることに気付く。 ・どんな吉名町になったらよいかインタビューをし、地域や保護者の方の思いや願いについて情報を集める。 ・吉名町の未来のために、現在の自分たちに何ができるか、アイデアを出し合う。 ・取り組みたい内容ごとにグループを作る。	イメージマップ	(2)ウ (2)オ (2)カ （行動観察、 記述分析）
5 〜 19	○学校運営協議会での提案や清掃ボランティアの実施に向け、企画書を作成したり提案の準備をしたりする。 ・取組の実現に向けて様々な人に協力してもらうにはどうしたらよいかを話し合う。 ・実現するために必要なことを考える。 祭り・イベント　→　必要な予算の計算 開催場所の検討と確保するための連携先の調査 料理を出すための連携先の調査 清掃ボランティア　→　必要な道具の準備 清掃の範囲の下見 ゲーム形式にするためのルール作成 ・学校運営協議会に向けてプレゼンテーション資料を作成し、発表の練習をする。 ・プレゼンテーションを見合って良い点や改善点を指摘し合い、それを基に修正する。 ・清掃ボランティアの実施に向けて練習を行い、良い点や改善点を指摘し合い、それを基に修正する。	ピラミッドチャート ＰＭＩシート	(1)イ (2)エ (2)オ (2)カ (2)ク (3)コ (3)サ （行動観察、 記述分析）
20	○学校運営協議会で自分たちの企画を提案する。 ・自分達の考えた企画を提案するとともに、学校運営協議会の委員の方に協力してもらいたいことを伝える。 ・質問されたことに臨機応変に対応する。		(2)キ (3)コ （行動観察、 記述分析）
21 〜 33	○企画の実行に向けて、分担して活動を進める。 ・学校運営協議会でいただいた指摘やアドバイスを整理して改善案を考える。 ・企画を修正し、今後の進め方について協議する。 ・企画の実行に向けて役割分担を行い、自分に合った役割を選択する。	ＰＭＩシート	(1)ア (2)ウ (2)エ (2)カ (2)ケ (3)サ （行動観察、 記述分析）
34 〜 35	○吉名町の未来のために、企画を実行する。 ・これまでの取組を基に、企画を実行する。		(1)イ (2)キ (3)サ （行動観察、 記述分析）
36 〜 38	○活動を振り返り、自分達の成長や地域の未来について考え、まとめる。 （例）→動画にしてまとめる。 →報告文にして、卒業文集に掲載する。　等	ＰＭＩシート	(3)コ (3)シ （行動観察、 記述分析）

４　本時について

(1) 本時の目標

学校運営協議会での発表や、１回目の清掃ボランティアでの練習を評価する活動を通して、祭り・イベントの実現や清掃ボランティアの実施に向けて、その良さや課題を明らかにしながら、その改善案を作成していくことができる。

(2) 本時の評価規準及びルーブリック　（(2) ケ 評価する力）

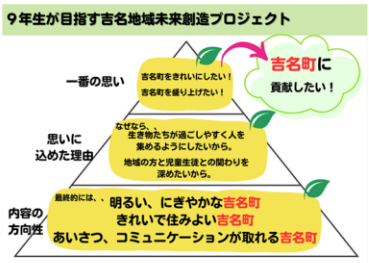
S（期待以上）	A（十分満足できる）	B（概ね満足できる）
自己評価及び他者評価を基に、ＰＭＩシートを用いながら多面的に企画や制作物等を見直し、よさや課題を明らかにしながら、その都度改善している。	自己評価及び他者評価を基に、ＰＭＩシートを用いながら企画や制作物等を見直し、よさや課題を明らかにしながら、その都度改善している。	自己評価及び他者評価を基に、ＰＭＩシートを用いながら企画や制作物等を見直し、その都度改善している。

(3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した児童生徒への指導の手だて）	評価規準 （評価方法）
１　これまでの学習を想起する。	◇これまでの学習を想起することができるように、これまでの学習過程を見通せる掲示物を提示しておく。	
２　本時の課題を確認する。	◇学校運営協議会での発表を想起させ、自分たちで考えた計画の足りない点に気付かせ、祭り・イベントを実施するために計画の改善案を本気で考えられるようにする。 ◇９年生で行った清掃ボランティアの練習の様子を想起させ、学校や地域を巻き込んで実施するための改善案を本気で考えられるようにする。	
自分たちの計画を見直して、改善案を作成することができる。		
３　ＰＭＩシートを用いながら、自分たちの計画の現状を分析する。	◇自分たちの視点だけでなく、取組に協力してもらう方や、参加してもらう他者の視点で見ると、自分たちの計画に改善案がたくさんあることに気付かせる。	自己評価及び他者評価を基に、ＰＭＩシートを用いながら企画や制作物等を見直し、その都度改善している。
４　改善案を考える。	◇実施日までの日にちを逆算させながら、今後の活動に向けて誰が、どのような準備をする必要があるか考えさせる。 ◆改善案が見付からない生徒には、クラスで決めた今回の取組に対する自分たちの思いや願いを再確認する。	
５　考えた改善案を全体で共有し、これからの活動の見通しを立てる。	◇お互いの今後の活動計画について発表させ、それに対して不備や改善案などが無いか、全体で確認する。	
６　本時の学習を振り返る。		

(4) 板書計画

7/12　自分たちの計画を見直して、改善案を作成することができる。



祭り・イベント

P よいところ	M ダメなところ	I おもしろいところ
・祭りを開きたいという熱意や思いが伝わった。 ・集客目標500人に挑戦する姿勢。	・実施日までの準備期間が短い。 ・屋台が食事だけで、参加しても面白くない。 ・この計画では、100人も集まらない。 ・食事の提供方法が現実的ではない。	・２月に新しい祭りが計画されている。 ・旧吉名小で実施した方が人が集まりやすい。 ・祭りに固執しなくてもよいのではないか。

○月○日の実施に向けて

○月○日までに　○○○○　担当○○
○○○○　担当○○
○○○○　担当○○

清掃ボランティア

P よいところ	M ダメなところ	I おもしろいところ
・下見をしてゴミが多い場所などを確認できた。 ・ゲーム形式にして、参加者が楽しむことができる。	・ボランティアだと人が集まらない。 ・地域や保護者を巻き込んだ取組になっていない。 ・2回だけの取組で継続性がない。 ・地域の方の思いが聞けていない。 ・参加人数が把握できていない。	・地域への貢献度が大きい。 ・去年の11月に地域で旧吉名小を掃除している取組がある。

○月○日の実施に向けて

○月○日までに　○○○○　担当○○
○○○○　担当○○
○○○○　担当○○

(5) 準備物

○電子黒板

○Chromebook

○映像教材